

2011年3月期 決算説明会

2011年5月11日

日本システムウエア株式会社

代表取締役執行役員社長 青木 正

目次

- 1. 2011年3月期決算について**
- 2. 2012年3月期計画について**

1. 2011年3月期決算について

連結業績概要

(単位:百万円)

	2010/3 実績	期初計画	2011/3		
			実績	前期比 (増減率)	計画比 (増減率)
売上高	24,849	25,000	24,906	+0.2%	△0.4%
営業利益	148	900	825	+456.4%	△8.3%
同率	0.6%	3.6%	3.3%		
経常利益	96	800	819	+745.7%	2.4%
同率	0.4%	3.2%	3.3%		
当期純利益	△381	570	565	—	△0.9%
同率	△1.5%	2.3%	2.3%		

- 売上高: 上半期を底に、下半期は前年同期実績を上回る
- 利益: コスト低減策の徹底により利益率を改善

セグメント別業績

(単位:百万円)

		2010/3 実績	期初計画	2011/3 実績	前期比 (増減率)	計画比 (増減率)
IT ソリューション	売上高	16,619	16,700	16,155	△2.8%	△3.3%
	営業利益	53	370	179	+238.2%	△51.4%
	同率	0.3%	2.2%	1.1%		
プロダクト ソリューション	売上高	8,230	8,300	8,751	+6.3%	+5.4%
	営業利益	95	530	645	+578.2%	+21.8%
	同率	1.2%	6.4%	7.4%		

- 【IT】 収益改善図るも、金融保険業、情報通信業向けで減収
- 【プロダクト】 組込み系の牽引により売上、利益とも計画を達成

事業区分別売上高①

(単位:百万円)

ITソリューション	2010/3期 実績		2011/3期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
ソリューション事業	8,480	51.0%	8,442	52.3%	△38	△0.5%
システム運用事業	3,364	20.2%	3,124	19.3%	△240	△7.1%
データセンター事業	3,021	18.2%	2,808	17.4%	△212	△7.0%
システム機器販売	1,293	7.8%	1,671	10.3%	377	29.2%
その他	458	2.8%	108	0.7%	△349	△76.3%
合計	16,619	100.0%	16,155	100.0%	△463	△2.8%

- ソリューション事業は売上微減も収益性改善を図る
 - インフラ構築系は引き続き堅調に推移
 - ただし、地方拠点においては受託案件で苦戦
- システム運用・DC事業は、価格競争激化による新規案件獲得に苦戦。また、顧客内製化により稼働率低下

事業区分別売上高②

(単位:百万円)

プロダクト ソリューション	2010/3期実績		2011/3期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
組込みソフトウェア 開発事業	5,396	65.6%	5,955	68.0%	558	10.3%
デバイス開発事業	2,598	31.6%	2,658	30.4%	59	2.3%
その他	234	2.8%	137	1.6%	△96	△41.3%
合 計	8,230	100.0%	8,751	100.0%	521	6.3%

- 組込みソフトウェア開発事業はスマートフォンの急速な普及により、Android関連が好調な伸び。売上、利益とも計画を上回る
- デバイス開発事業は、当初予測された顧客内製化の影響を最小限に収束。また、新領域・顧客開拓でリカバリ

経営・財務指標の推移

- 引き続き、財務体質の健全化を図る
- 有利子負債860百万円を返済

	2010年3月期 期末	2011年3月期 第2四半期末	2011年3月期 期末
流動比率	135.5%	142.6%	152.6%
固定比率	95.3%	92.4%	88.4%
有利子負債依存率	20.5%	18.7%	16.3%
デット・エクイティ比率	0.37倍	0.33倍	0.28倍
自己資本比率	56.1%	57.3%	58.8%
一株当たり当期純利益	△25.63円	16.18円	37.93円
一株当たり配当金	4.00円	7.50円	7.50円

2. 2012年3月期計画について

連結業績予想

(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	24,906	25,000	+93	+0.4%
営業利益	825	820	△5	△0.7%
同率	3.3%	3.3%	△0.0p	
経常利益	819	800	△19	△2.3%
同率	3.3%	3.2%	△0.1p	
当期純利益	565	450	△115	△20.4%
同率	2.3%	1.8%	△0.5p	

- 東日本大震災の影響度は未だ不透明
- 前期実績比で横ばいの計画

セグメント別業績予想(通期)

(単位:百万円)

		2011/3期 実績	2012/3期 予想	前期比	
				増減額	増減率
IT ソリューション	売上高	16,155	16,400	+244	+1.5%
	営業利益	179	340	+160	+89.1%
	同率	1.1%	2.1%	+1.0p	
プロダクト ソリューション	売上高	8,751	8,600	△151	△1.7%
	営業利益	645	480	△165	△25.7%
	同率	7.4%	5.6%	△1.8p	

- 両セグメントにおける事業規模の確保
- ITソリューションにおける収益性の改善

ITソリューション 事業環境

プラス要素

- 前下半期、受注回復
- クラウドインフラ構築、サービス利用の本格化
- 障害時対策としてデータセンターニーズの高まり

マイナス要素

- 電力使用制限による自家発電コストの増加
- IT投資の先送り
- 節電対策による稼働率低下
- 運用サービスの内製化、海外シフト

ITソリューション 事業戦略

中期事業戦略

- ITトータルソリューションの推進
- サービス分野の拡大

□売上拡大

- ✓既存顧客の深耕
- ✓営業体制の再編、データセンター営業の強化
- ✓サービス拡充によるクラウド事業推進

□収益力向上

- ✓不採算案件の撲滅
- ✓人材育成による上流工程へのシフト
- ✓地方拠点の統合による人材リソースの柔軟な配置

プロダクトソリューション 事業環境

プラス要素

- モバイル端末の多様化と、それを活用したサービス利用、システム構築ニーズの拡大
- 社会インフラ整備による復興需要の喚起

マイナス要素

- フィーチャーフォン等の既存開発の減少
- メーカーの製品出荷の遅延・停滞にともなう開発投資先送り
- 節電対策による稼働率低下

プロダクトソリューション 事業戦略

中期事業戦略

- エンベデッドトータルソリューションの拡大
- コア技術による差別化と優位性の確保

□ 事業規模の確保

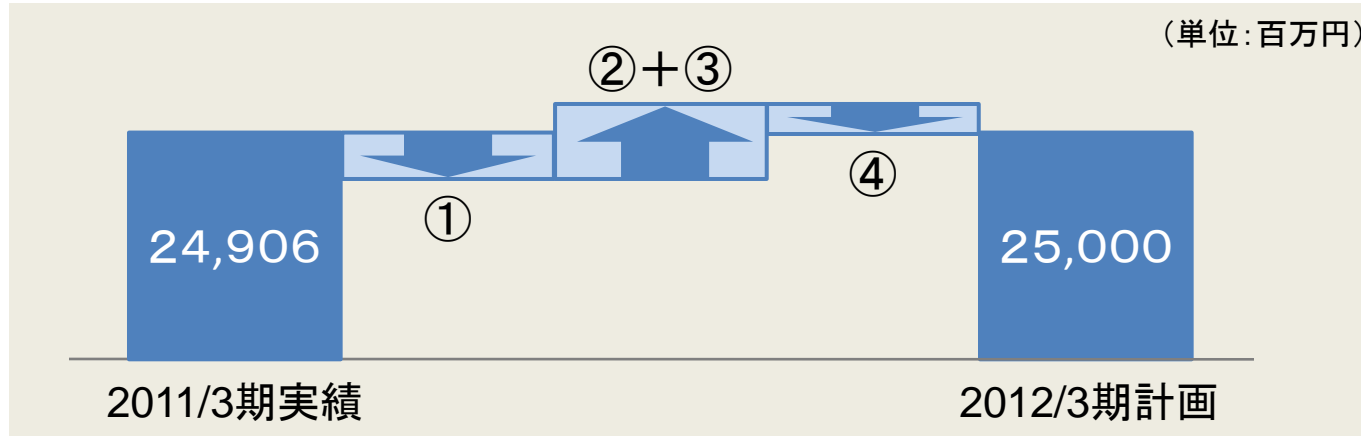
- ✓ 既存顧客の深耕
- ✓ ETSを軸とした新領域、新規顧客の開拓
- ✓ Androidを軸としたモバイルクラウドサービスの確立

□ 収益力向上

- ✓ サービス事業の展開による付加価値の向上
- ✓ マネジメント強化によるロスコストの抑止
- ✓ オフショア、国内オフショアによる原価低減

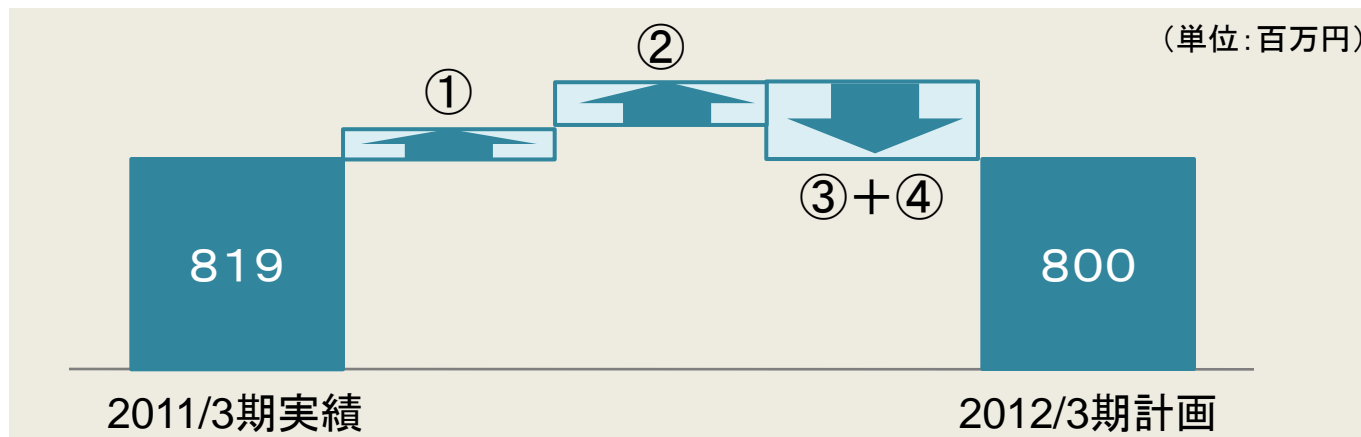
計画達成にむけて

● 連結売上高



- ① 組込み系開発の需要減少
- ② 既存顧客の深耕
- ③ 新規顧客の開拓
- ④ IT投資先送り

● 連結経常利益



- ① 不採算案件撲滅
- ② 生産性向上
- ③ IT投資抑制による利益減
- ④ 電力不足、節電によるコスト増

中期ビジョンの実現に向けて

収益体質の強化

2011/3 2012/3 2013/3

成長力

収益力

差別化

● 中期ビジョン

- 開発集団からサービス提供集団へ
- 高収益企業グループへ
- 新たな価値を創出する企業グループへ

□ 人材育成

キャリア開発元年と位置づけ、キャリアデザインマネジメントの確立

□ 新規事業の立ち上げ

新たな収益基盤の確立、雇用創出も視野に入れた活動を継続

□ グループ経営の強化

組織、業務、人材リソースの再編によって効率的な経営を実現

NSW

Humanware By Systemware